




# さはら みつ やす 充恭

Let's go to the next 100 years !

2022年1月度活動報告 佐原充恭後援会 〒448-8651 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地 トヨタ紡織労組内

## 1) コロナワクチンの追加接種につきまして(1/31時点の情報)。

年齢	分類	接種間隔
18歳以上	医療従事者(医科の病院や診療所には限らない)	<p>2月以降、対象となる全ての方の追加接種間隔が<b>6か月に前倒し</b>されます。</p> <p>2回目接種完了から<b>6か経過後</b></p> 
	医療従事者(医科の病院及び診療所に限る)の同居家族	
	病院及び有床診療所の入院患者	
	高齢者及び障害者施設(入所・通所)の利用者	
	高齢者及び障害者施設(入所・通所)の従事者	
	令和4年3月31日時点で65歳以上(昭和32年3月31日以前生まれ)の方	
	基礎疾患を有する方	
	上記以外の一般市民	
12~17歳	現段階では接種対象ではありませんが、都度、 <b>最新情報</b> をご確認下さい。	
5~11歳	厚労省特例承認済→ <b>3月頃に接種開始予定</b> です。都度、 <b>最新情報</b> をご確認下さい。	
その他	看護学生・医学部生、潜在看護師、警察・消防、自衛隊、保育士・幼稚園教諭等	2回目接種完了から <b>6か経過後</b>

接種券の配送予定や接種予約の方法等については、刈谷市HPもしくはコールセンターにて必ず**最新情報**をご確認下さい。発熱したなど感染が疑われる場合は、愛知県のサイトを**ご参照**下さい。職域接種については皆様の勤務先にお問合せ下さい。

「新型コロナワクチン接種について」

<https://www.city.kariya.lg.jp/kurashi/kenkoiryo/info/kenko/1008321/index.html>

お電話でのお問合せは新型コロナワクチンコールセンター(☎0570-047-055)まで。  
受付時間は月~土 午前9時から午後6時です。日曜、祝日、年末年始は休止します。



発熱したなど感染が心配な方や、濃厚接触者になった方はこちらをご参照下さい。

愛知県新型コロナウイルス  
感染症対策サイト

<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/>



## 2) 12月定例会報告～さはらの要望事項が補正予算化されました。



### 1. 刈谷駅南北連絡通路の雨漏り対策

予算額は**2,000万円**で、**雨漏りの応急処置費用と雨漏りの原因の調査費用**です。屋根の経年劣化により、豪雨時には**雨水があちこちから通路に滴り落ちます**。もし利用者が足を滑らせて負傷した場合、市の管理責任を問われかねません。

雨漏りがひどい北口の通路やコンコース、駅前広場は**建設から30年以上が経過**していますので、私は本年の6月定例会で、**これらのリニューアルを提言**していました。今回の雨漏り対策を皮切りに、**リニューアルについても引き続き検討**頂きたいと思えます。



### 2. 薬師川の※浚渫(しゅんせつ=川中の土砂を撤去し、水位を下げる工事)

予算額は**2,200万円**で約5年振りの工事となります。重原地区と連携して要望し続けてきた結果、5年前に行った**上流部に加え、すぎな作業所前付近の下流部も浚渫**される事となりました。

薬師川及び接続する下がり松川の沿線には、刈谷豊田総合病院、すぎな作業所、心身障がい者福祉会館、交通児童遊園等の**多数の公共施設と住宅**があります。もし**豪雨で氾濫すれば甚大な被害が生じる恐れ**がありますので、沿線全体の浚渫が完了するまで、引き続き要望していきたいと思えます。

## 3) 1月臨時会報告～会派「市民クラブ」を代表し、質疑討論を行いました。

国費による先行実施分の要件からはずれた世帯に、市単独費で支給する**子育て支援臨時給付金(予算総額約4.16億円 子ども1人につき10万円)**の補正予算案について、**会派「市民クラブ」会長として質疑討論**を行いました。

『当該事業の先行実施分は当初、クーポン等による給付も計画されていたが、高額な経費と時間がかかるとの批判を受けた為、今回の拡充分も現金給付だと認識している。**現金は速やかに支給できる一方で、その効果が実感できないと一過性のバラマキになりかねないが、今回の給付をステップとし、更に高いレベルの子育て支援に取り組んでいくとの答弁を頂いた。その決意に敬意を表し、本議案には賛成する。**』

『今回、**所得制限を撤廃**して給付する事が、**所得の多寡(多い少ない)にかかわらず子育て支援策を求める声につながっていくように感じる**。かといって、単に保育の利用料や給付を一律にするのではなく、**現行事業の内容や質を多角的に分析しながら、誰もが満足できるサービスを更に追求していく必要がある。**』

『それらの事を踏まえ、改めて子育て支援策、ひいては子育てに関わる福祉施策全体を俯瞰し、知恵を絞り、**誰もが子育てしやすいまち刈谷**」づくりに取り組んでいくべき。』



佐原 充恭 議員

